

夢を語ろう！みんなで考えよう！

『できたらいいな みんなの区役所・体育館』ワークショップ かわらばん no.1 平成15年3月20日発行

3月1日（土）に右京区総合庁舎・地域体育館をみんなで考える「できたらいいな みんなの区役所・体育館」ワークショップの第1回が開催されました。

右京区では地下鉄東西線の延伸に伴い、天神川駅（仮称）周辺で整備される公共施設（総合庁舎、地域体育館）について、区民の皆さんにとって親しみやすいものとなるように、「できたらいいな みんなの区役所・体育館」ワークショップを開催し、区民の皆さんと一緒に考えて、進めていきます。

当日の様子



第1回 『新しいまちへの期待や将来像を語ろう』

3/1 (土)

13:30~

ーより良い施設づくりに向けてみんなの気持ちを集めよう！

会場：右京消防署3階講堂

第2回 『現地を見て区役所を語ろう！』

3/29 (土)

13:30~

ー庁舎探検をして考えよう・こんな庁舎が欲しい！

会場：右京消防署3階講堂

第3回 『みんなで施設の使い方を考えてみよう！』

4/19 (土) 予定

ーみんなが使う場所のカタチやつながりを考えよう！

会場：右京区役所会議室（予定）

第4回 『どんな施設にするか考えよう！』

6/7 (土) 予定

ー計画案の検討と具体的な中身を考えよう！

会場：右京区役所会議室（予定）

第5回 『こんな総合庁舎・地域体育館にしたい！』

7/5 (土) 予定

ー市の設計案について区民みんなで検討しよう

プログラム

1. あいさつ・趣旨説明
2. 事業の概要説明
3. プログラム説明
4. 幻燈会
5. 旗上げアンケート
6. 質疑応答・まとめ

『ワークショップ』って何？

ワークショップとは、みんなで議論したり、モノを見たり、実際に何かを作りあげたりと、共通の体験をしながら、協働で提案や計画をつくりあげていくことを言います。

気軽な気持ちで楽しみながら、みんなで話し合い、一人ひとりが知恵を出し合い一つの成果を作り上げていく取組です。

当日の流れ

第1回ワークショップは、午後1時30分から右京消防署3階講堂で始まりました。

初めに、吉永右京区副区長から挨拶があり、その後天神川駅（仮称）周辺整備事業の概要についての説明がありました。

ついで、延藤安弘先生（千葉大学教授）による幻燈会が行われ、市民参加で市の複合福祉施設づくりを行った四街道市での取組が紹介されました。

引き続き、延藤先生により旗上げアンケートが行われ、参加者とのやりとりが行われました。

最後に、今回のワークショップの取組についての意見や質問等を参加者各自に書いていただいたものを、コーディネーターの乾亨先生（立命館大学教授）にまとめていただきました。

当日は、雨のなか50名を超える参加者で、幻燈会や旗上げアンケートなどで盛り上がり、活発な意見もだされて、熱気あふれる集まりとなりました。

「市民参加で公共施設を設計する —キモチづくりからカタチづくりへ—」

講師 千葉大学教授 延藤安弘先生



すでに、市民参加で市の複合福祉施設づくりを進めている千葉・四街道市の経験を中心にしながら、市民が計画段階から参加することの可能性や魅力について語っていただきました。

スヌーピーの絵本からスタートした幻燈会は、2台のスライドと、軽快な関西弁の口調で、会場はしだいに延藤ワールドに引き込まれていくようでした。



幻燈会についての感想

とてもいい試み

- ・子どもやその親、高齢者の方と老若男女、参加されているところがすごい面白い。
- ・市民の捉え方が子どもという視点からあって、「文化」をも育ていけるスタートとなっていて嬉しい！

こんなふうになったらいいな...

- ・四街道市の住民参加の様子を聞き、ここでもそんな風になればいいなあと思いますが…。今まで市の対応は、私の仕事はここままで、そちらは私の係りではないので…。聞くだけで活かされずに来たのでにわかには信じがたいものがある。役所には不信がある

ピーナッツおもしろい！ 右京でも特色だしたい

- ・四街道市の福祉施設づくりの中で、千葉名産のピーナッツの形をした部屋の案がでていたことは大変おもしろい。右京区も「右京の名産や色」がでる区役所や体育館になってほしいな。

しつもん

Q. 参加市民の広がりや？また、参加者から不参加者になられた方はおられましたか？

A. 自称「不満問屋」だった人も、最後まで出席して、前向きに一生懸命になってました。実際には、最初から最後まででていた人は2、3割程度でした。なかなか全部の回に出席するのは難しいと思います。出れるときに出る、それでいいのではないのでしょうか。

Q. 千葉の事例で一番困ったのは何ですか？

A. 困ったことがないとそのワークショップはうまくいきません。困難をエネルギーにかえることで前へ前へと進むことができるのです。予算が1億カットされたのは困りましたが、どうすればいいかを前向きに考えることが大切なのです。

延藤先生プロフィール

1940年大阪生まれ。北海道大学工学部建築工学科卒業、京都大学大学院修了。京都大学助手、熊本大学教授等を経て、1997年より千葉大学工学部都市環境システム学科教授。京都のコーポラティブ住宅ユーコート、熊本のMポート、神戸の真野地区まちづくり、世田谷まちづくり等、全国各地の住民主体の住まい・まちづくりに関わっている。



旗上げアンケート

集計結果と意見



問1. あなたと右京区の関わりはなんですか。

- ① 右京区に住んでいる。
- ② 右京区に勤めている。
- ③ 右京区に通学している。
- ④ 右京区に強い関心がある。
- ⑤ その他。

①	22人
②	10人
③	1人
④	7人
⑤	8人

「右京区民ではありませんが、まちづくりのNPO活動をしています。公共施設を市民と行政が一緒にどのようにして作っていくのに関心があって参加しました。」

問2. 京都市の11区のうち人口が多い上位5区の人口(概数)です。右京区はどれでしょう。

- ① 288,000人
- ② 195,000人
- ③ 171,000人
- ④ 156,000人
- ⑤ 138,000人

①	3人
②	25人
③	7人
④	4人
⑤	1人

➡ 正解は②番



ちなみに

- ① 伏見区
 - ② 右京区
 - ③ 左京区
 - ④ 西京区
 - ⑤ 山科区
- でした。

問3. 今日の幻燈(スライド)を見てどう思いましたか。

- ① すばらしい。右京でも頑張りたい。
- ② まあまあだ。多少は参考になった。
- ③ 参考にはなったが、今回の整備にはあまり関係ない。
- ④ 自分たちの地域では難しい。
- ⑤ その他

①	33人
②	8人
③	0人
④	0人
⑤	2人

旗上げアンケートの様子



問4. 今回の参加型施設づくり(ワークショップ)の取組についてどう思いますか。

- ① すばらしい。京都市としては画期的な取組だ。
- ② 良いことではあるが、市民が参加して進めるのはなかなか難しい。
- ③ こんな取組より、京都市で早く案を作って、見せてもらいたい。
- ④ 市民参加はポーズだけで、本当はもう案が決まっているのではないか。
- ⑤ その他

①	28人
②	11人
③	0人
④	1人
⑤	2人

「予算を立てる段階である程度絵を描いているはずであり、行政の中で青図ができていないのではないかと。設計事務所も決まっているのでは。」



「敷地の規模や形状、区役所・地域体育館はいる複合ビルを整備するという事は決まっていますが、内容については正直白紙の状態です。(京都市拠点整備課)」

問5. あなたは今回の取組で、どの施設の整備内容に一番関心がありますか。

- ① 区役所の市民窓口や税・年金・保険等の窓口・待合、等
 - ② 保健所
 - ③ 福祉事務所
 - ④ 地域体育館
 - ⑤ その他
- ※厳密には、保健所・福祉事務所を含めた全体を区役所と言います。

①	20人
②	1人
③	7人
④	15人
⑤	10人



問6. 次回の集まり(ワークショップ)にも参加したいと思いますか。

- ① 是非とも積極的に参加したい。
- ② 出来たら参加しようと思っている。
- ③ 難しそうなので、あまり参加しようとは思わない。
- ④ 思っていた内容と違うので、あまり参加しようとは思わない。
- ⑤ その他

①	17人
②	24人
③	0人
④	0人
⑤	1人

「こういった施設を市民参加で考えていこうという取り組みはとても良いこと。できるだけ参加していくつもり。」



意見・感想

当日ポストイットに書いて頂いたみなさんの意見や感想を抜粋してご紹介します。

今回のワークショップの取組について

参加者の条件はありますか？

- ・ワークショップに母親も参加できるように子供を預かる空間を作って、次回からはもっといろいろな人が来られるようにすればいいのに...
- ・ワークショップの参加条件はありますか？右京区民中心とか。他の区民でもOKですか？

不安です

- ・条件は小出しにせず、いっぺんに出して。できる範囲の中で夢を実現していく方が良いと思う。せっかく合意の絵が絵に描いた餅にならないよう。

こんな進め方をして！

- ・右京には特に子どもが多いと聞いているので、やはり次世代を担う子どもたちの意見等、組み入れていく必要があると思う。

もっと広報・情報を

- ・“ワークショップ”が何をやるかわからない区民が多いと思う。
- ・市民の多くに知らせて欲しい。市民しんぶんや回覧板だけでなくもっと広報を。

区役所や地域体育館についてぜひとも今日も言っておきたいこと

区役所

- ・区民が集うようなロビーが欲しい。明るく、広く、清潔に。
- ・老人、子どもを問わず、誰でも利用しやすい施設づくり。
- ・気楽にフラッと寄れるまちの縁側みたいになるといいな。
- ・総合庁舎としての行政機能と、右京の風情と交通の発着点としての3つの問題を満たすようなものにしてほしい。

地域体育館

- ・保育スペース、子どもスペースを。
- ・武道ができる場所を。
- ・地域体育館って何ですか？どんなことができるの？

外観・イメージ

- ・京都をイメージする外観。真白なビルは面白くない。
- ・箱形の建物ではなく、右京区ふれあい文化会館のように右京区の特徴を持った外観にしてほしい。

住宅

- ・庁舎の中に「住宅」との話を今日初めて聞いた。庁舎内につくるのではなく、別棟とすべき。改修時にもやりにくい。

Q&A

・ワークショップの参加条件はありますか？

→右京に係わりがある人、右京のまちづくりに思いを寄せる人なら誰でもOKです。

・予算は決まっているの？

→市街地再開発事業の予算はある程度決まっていますがこの施設の建設費予算はまだ決まっていません。

・地域体育館って何？

→地域体育館とは、右京区民専用ではなく全市民の方に使っていただく地域に密着した体育館のことです。

その他なんでも意見・感想等々

- ・駐輪台数は足りるのか。無法駐輪が心配。
- ・駅前を使い方を間違えないでほしい。
- ・多くの意見のまとめ方はどうするか。
- ・庁舎をつくったら、区政運営にも市民参加を取り入れ、市民パワーを高めよう。
- ・天神川の流れを何か工夫できないか。
- ・京都市で初めてのワークショップによる区役所庁舎づくり。大変楽しみです。

最後に延藤先生にこれからの進め方のキーワードをまとめて頂きました。

☆これからのすすめ方のキーワード

- うきょう
- ①きうきわくわく楽しい活動・とりくみ (持続力・想像力)
 - ②希望と悩みをわかちあう
 - ③そのことにも学びつつ地元のタカラをみがく (市民各層)
 - ④ろんなる対立を力にトラブルをエネルギーに

次回は...

『現地を見て区役所を語ろう!』

区役所の探検をします。
どんな施設になったらいいか、
みんなで考えよう!

3/29(土)

午後1時30分から
右京消防署3階講堂

編集 「できたらいいね みんなの区役所・体育館」
ワークショップ事務局

発行 右京区役所・右京区まちづくり円卓会議

発行日 平成15年3月20日

問い合わせ 京都市右京区役所区民部企画総務課
TEL (075) 861-1101 (代表)